

「西原町内から他地区に移転した方の声」

～仮設住宅以外の場所で暮らしている西原町内会の皆さんの声を編集員が集めてきました。このコーナーは毎号続けていきたいと思ひます。ぜひお便りをお寄せ下さい。～
聞きて 下山栄子

平山正己さんの感想

今の生活には大分慣れましたが、青葉区宮城台でするので買物には不便だそうです。
娘さん親子と自分の五人の家族で暮らして日中は週二回グランドゴルフを楽しんでいます。又隣近所とのつきあいは全然なく西原が恋しいと言っていました。

田耕せい子さんの感想

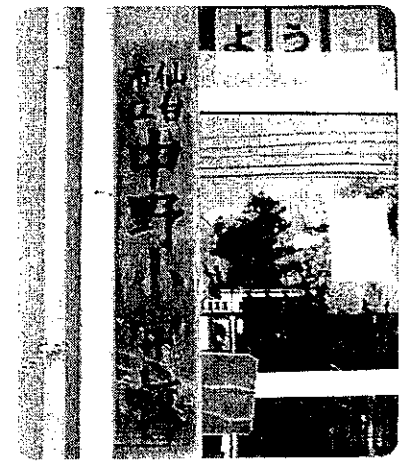
今の生活には慣れましたが港南住宅は買物には不便だそうです。
主人、自分、娘、孫二人の五人家族で暮らしています。日中はテレビを見たり、たまに病院に行ったり、午後からは散歩を毎日しているそうです。
隣近所との付き合いは全然ないそうです。
やはり田耕さんも西原が恋しいと言っていました。

小学校の様子、子供たちの姿を覗いてきました。

学校は、子どもたちは今どうなっているんだろう？
今回は中野小学校に伺って様子取材してきました。



▶現在、中野小学校は中野栄小学校のなかにあります。
一階、南側の玄関に震災を乗り越えた木製の学校名表札が、掲げられています。
▲十一月十一日(金)五年、六年の学年行事がありました。
(株)ホットランド「築地 銀だこ」様の好意で「親子でたこ焼き作り」が行われました。子供達も父兄もアツアツのたこ焼きに、ホットする時間でした。



「仮設住宅での節約術」

～不便なことが何かとおおい仮設住宅での生活ですが、こんなアイデアでちよつとだけ快適になれます。ぜひ皆さんの快適生活術を教えてください～

お風呂編

- お湯の上にアルミシートをのせ、冷めないようにする
- 一番目の人はお湯を少なめに入れ、次の人は栓を抜き少しお湯を流し、熱いお湯をたす
- アルミシートを体にかぶせ、保湿効果を高める
- 体を浴用タオルで拭き、それからバスタオルを使うと体の乾きが早くバスタオルもぬれない
- 夏場は換気扇を回し、浴室内をタオルで拭き、カビの発生を防ぐ
- ペットボトルにお湯を入れ水かさをふやす

『ボランティアに感謝、そして感謝』

～ボランティアさんとの交流の中で、家の一部解体のため行政ではやっていただくことができないので、ボランティアにお願いすることにしました。
東京から日曜日の都合をみて来ていただいています。

工務店の社長をしている方が、ボランティアを募って来ているそうです。
そのボランティアの一人の方が「東京のほうでは、震災があったことが人々の気持ちから薄れてきている。私は忘れていけないことなんだと自分に言い聞かせるため、毎週ボランティアに来ているんです。」
この話しを聞いた時、思わず熱いものが込み上げてきました。たぶん、仙台の街の中でも同じではないでしょうか？
この温度差が少しでも緩和されるなら、復興ももっと早くできるのではないのでしょうか。
貴重な休日を本当にありがとうございます。
ボランティアさんに感謝します。

ステージ発表や屋台コーナー、フリーマーケット、よろず相談コーナーなど盛りだくさんの内容です。
●川下加寿子
寒さが身にしみるようになりましたが、風邪をひかないよう頑張っています。
●鈴木百合子
手首を痛め、生活に支障をきたしているこの頃です。
●伊藤 光子
早いもので第2号の発行ですね。皆様も記事集めに一生懸命に努力している様です。これからも楽しみます。今月は行事が沢山あり、何か忙しいヶ月でした。私も十月より職場に復帰して毎日が充実しています。とにかく健康に気を付けて一日も長く働きたいと思っています。
●下山 栄子
それぞれ今までは違う環境の中、不安や大変な事が沢山有ると思ひますが、この新聞を通して情報を共有し少しでも前向きになつてもらえるよう頑張りたいと思ひます。
第一回、二回と快く協力して下さいました皆様、有難うございました。
●熊谷 綾子
中野小学校の取材を通し、子供達には今後も楽しくやってほしいと感ずきました。
被災小学校の存続の事が、心配です。
●直井 幸江
西原のみなさん、いつも笑顔をお忘れず、二日大切に過ごしてください。皆さんの笑顔を見ると、私もますますスマイルになります。
●武内 利子
西原を離れて住んでおりますので、第一日曜日に編集会議で委員の皆さまと会えるのが楽しみです。
●大和田 美知子

西原作品展

このコーナーでは西原町内会のみなさんの作品を紹介しています。イラスト、写真、川柳、書道など何でもOKです。ぜひ編集室までお寄せください。



題「笑顔」 高砂中学校三年生 西原町内会 佐々木美保さんの作品



編集委員の近況報告